

【委員会のポイント】

- ① 対象となる滑走路等の構造上の安全性について、通常の利用においては問題ないことと、一方で、レベル2地震の発生に備え、修補が必要であることを再確認した。
- ② これまで経験したことがない施工となることから、受注者が実施した地盤条件の評価や、その後実施する追加の地盤改良について、まずは現地の地盤状況の正確な把握を行うこと。そのためのボーリング調査地点の取り方、試験項目等、修補に向けて十分な検討を行うこと。
- ③ 修補に向けた検討手順については、次回の委員会までに一部見直しを行うこと。

【開催内容】

日 時：平成28年9月29日(木) 13:00-15:00

場 所：関東地方整備局 横浜第二合同庁舎 14階会議室

主 催 者：関東地方整備局

(事務局：空港整備課、横浜港湾空港技術調査事務所)

委員構成：委員長 善 九州大学大学院工学研究院特任教授

委員 春日井 (前)国総研 副所長

山崎 港空研 特別研究主幹

小濱 港空研 耐震構造研究グループ長

佐々 港空研 動土質研究グループ長

水谷 港空研 基礎工研究グループ長

(欠席)坪川 国総研 空港施設研究室長

(欠席)森川 港空研 地盤研究領域長



修補検討委員会の状況